

えちぜん鉄道・福井鉄道 相互乗り入れ事業



平成28年6月29日（水）
福井県土木部 道路建設課
主査 上田剛志

福井鉄道とえちぜん鉄道

会社名	福井鉄道株式会社	えちぜん鉄道株式会社
営業路線延長	21.5km	53.0km
運行形態	福武線 軌道区間(3.4km) 鉄道区間(18.1km)	三国芦原線 鉄道区間(25.2km) 勝山永平寺線 鉄道区間(27.8km)
年間輸送人員 (H27年度実績)	198万人	345万人
使用車両	大型車両 : 3編成 低床車両 : 15編成 	大型車両 : 21編成 低床車両 : 2編成 (相互乗り入れ開始に合わせて導入) 

福井鉄道

- ① パーク&ライドの拡大、高齢者対象割引券の発行
- ② 新駅設置
- ③ 新型LRV(F1000形(フクラム))、ドイツ製車両(レトラム)の導入
- ④ 路面軌道の改修、電停のバリアフリー化・・・広幅ホーム、スロープ・上屋の設置
- ⑤ JR福井駅西口交通広場への延伸



えちぜん鉄道

- ① パーク&ライドの拡大、駐輪場の設置、観光施設とのセット券の販売
- ② 新駅設置
- ③ 「きょうりゅう電車」の運行
- ④ 「えち鉄CAFE」の設置
- ⑤ EV車によるカーシェアの実施



利用向上に向けた、各社の取り組み

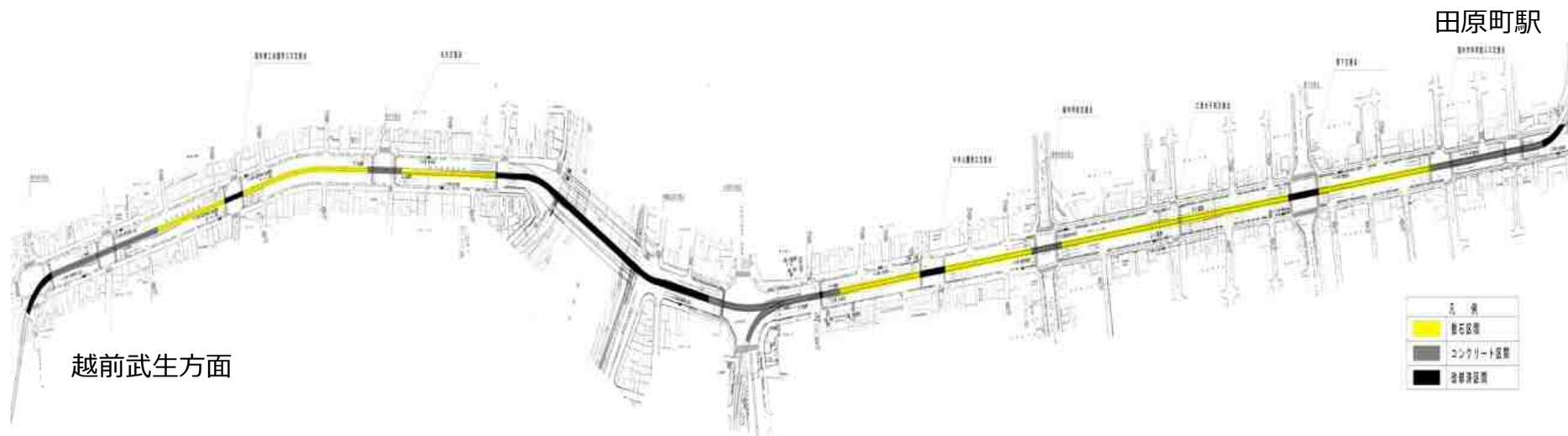
福井鉄道 ドイツ製車両（レトラム）



- 平成26年4月12日からドイツ南西部の都市シュツットガルトで路面電車として走行していた車両「レトラム」が運行開始
- 越前武生～赤十字前を1往復、赤十字前～福井駅前～田原町間を2往復運行（土日祝日）

利用向上に向けた、各社の取り組み

福井鉄道 路面軌道改修 (H26~29)



公園口電停付近



裁判所前交差点付近

利用向上に向けた、各社の取り組み

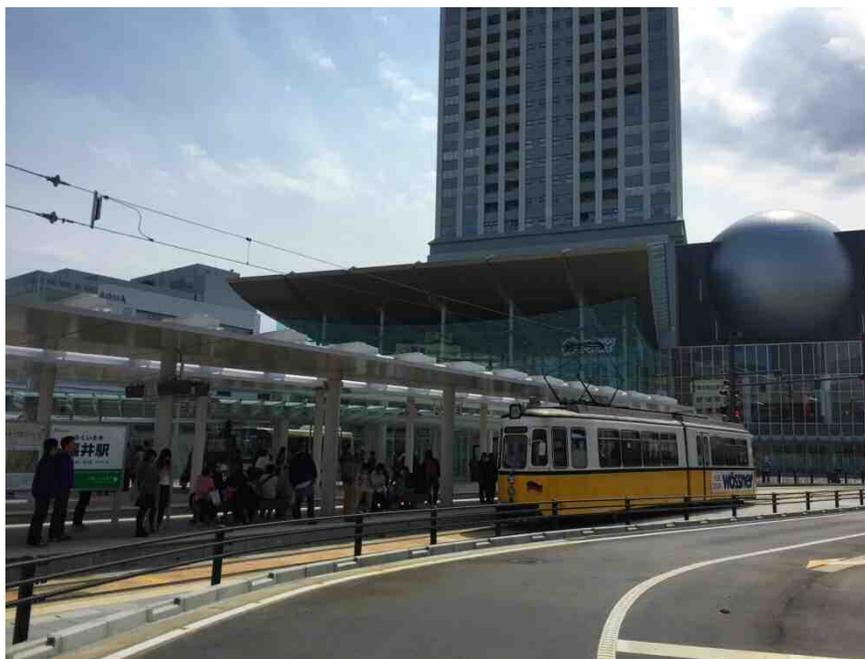
えちぜん鉄道 きょうりゅう電車



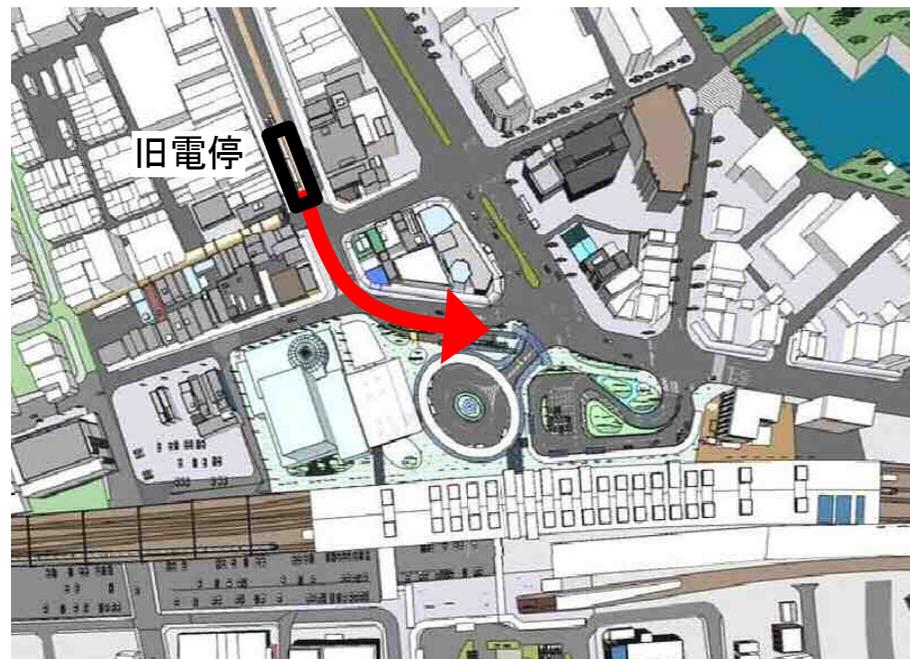
- 平成26年4月26日から福井駅・勝山駅間を通常便より10分早く着く「きょうりゅう電車」が運行開始
- 土日祝日で1日1便（福井駅9:48発）運行

利用向上に向けた、各社の取り組み

- ・JR福井駅から離れた位置にあった駅前電停を、福井駅西口広場の整備にあわせて143m延伸、平成28年3月27日の相互乗り入れと同時に運用開始



福井駅西口広場に延伸された福鉄福井駅
※停車している車両は福井鉄道のレトラム



駅前線の福井駅西口広場への延伸
(電停移設)

利用向上に向けた、各社の取り組み

- ・えちぜん鉄道三国芦原線の西別院駅と福井口駅の間に、
新駅「まつもと町屋駅」を設置

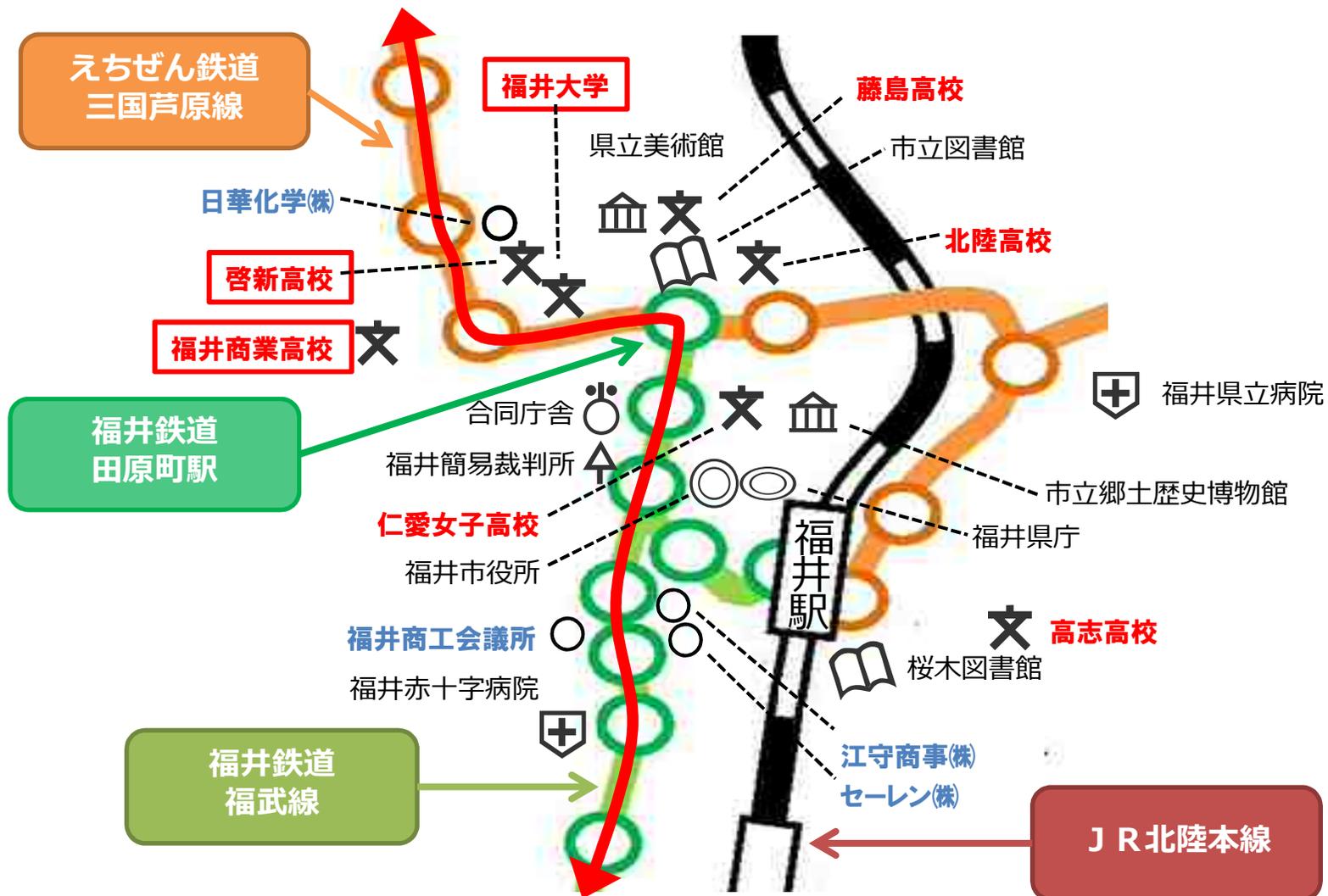


まつもと町屋駅

※年間約15,000人の利用を見込んでいる



鉄道沿線地域の状況



・南北の幹線軸沿線には、多くの住宅、学校、公共施設、大手企業が立地

→ (LRVによる)相互乗り入れ、高頻度運行により、乗車数を拡大できないか

田原町駅の状況（事業開始前）



福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗入れの事業概要



相互乗り入れ事業検討会議の開催

相互乗り入れを進めるため、両鉄道事業者に加え、沿線市町や道路管理者、警察など関係者の意見を調整する場として、県が「相互乗り入れに関する事業検討会議」を開催（第1回 平成22年5月27日）

平成25年2月7日に開催した第6回会議で、平成25年度から設計やホーム改修等の工事を行い、平成27年度から越前武生駅と鷺塚針原駅の間で運行開始を目指すことを合意

【構成員】

国土交通省中部運輸局
国土交通省近畿地方整備局
福井市、鯖江市、越前市、
勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町
福井鉄道株、えちぜん鉄道株、
福井県警察本部、福井県

【経過】

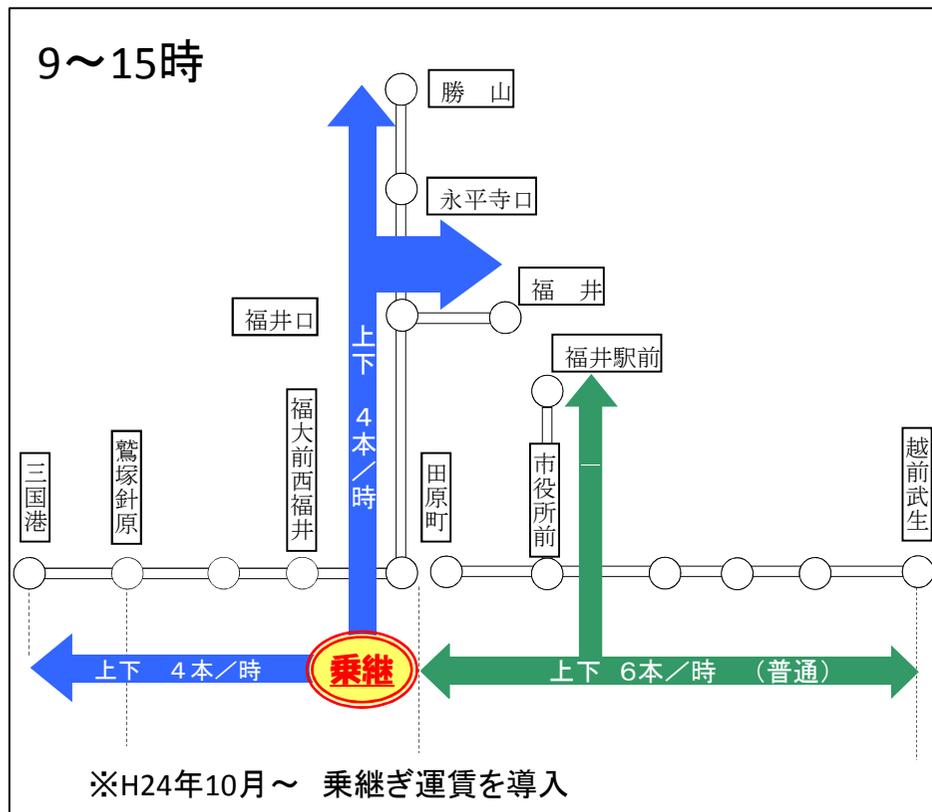
事業検討会議（第1回）(H22.5.27)
事業検討会議（第2回）(H22.8.12)
事業検討会議（第3回）(H22.11.29)
事業検討会議（第4回）(H23.6.14)
事業検討会議（第5回）(H24.11.27)
事業検討会議（第6回）(H25.2.7)



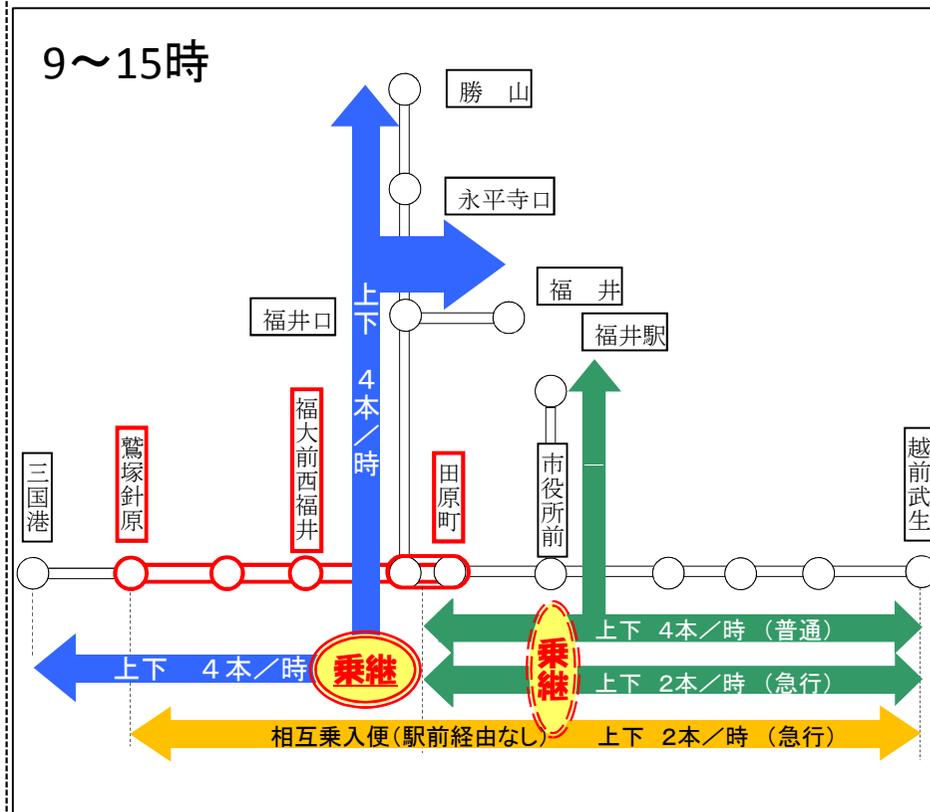
第6回 事業検討会議の様子 (H25.2.7)

運行パターン

相互乗り入れ開始前 (H28.3月まで)



相互乗り入れ開始後



相互乗り入れ便を、毎時2本(上下)運行

}	福井鉄道	: 毎時 6本(上下)	→ 毎時 8本(上下)
	えちぜん鉄道	: 毎時 4本(上下)	→ 毎時 6本(上下)

相互乗り入れの効果

福井鉄道・えちぜん鉄道相互乗り入れの効果（平成28年3月時点）



〔運行時間の短縮〕

越前武生 ⇄ 鷺塚針原駅
約80分 → 約60分（約20分短縮）

〔運行本数の増〕（9～15時）

福井鉄道区間
6本/時 → 8本/時（2便/時増）
えちぜん鉄道区間
4本/時 → 6本/時（2便/時増）

通学利用者の利便性向上

- ① 丹南方面から福井商業高校、啓新高校、福井大学等に通学する学生の乗り継ぎ解消
- ② 福井市北部から仁愛女子高校等に通学する学生の乗り継ぎ解消

通院利用者の利便性向上

- ① 丹南方面から病院に通院する高齢者の乗り継ぎ解消
- ② 福井市北部から赤十字病院に通院する高齢者の乗り継ぎ解消

通勤利用者の利便性向上

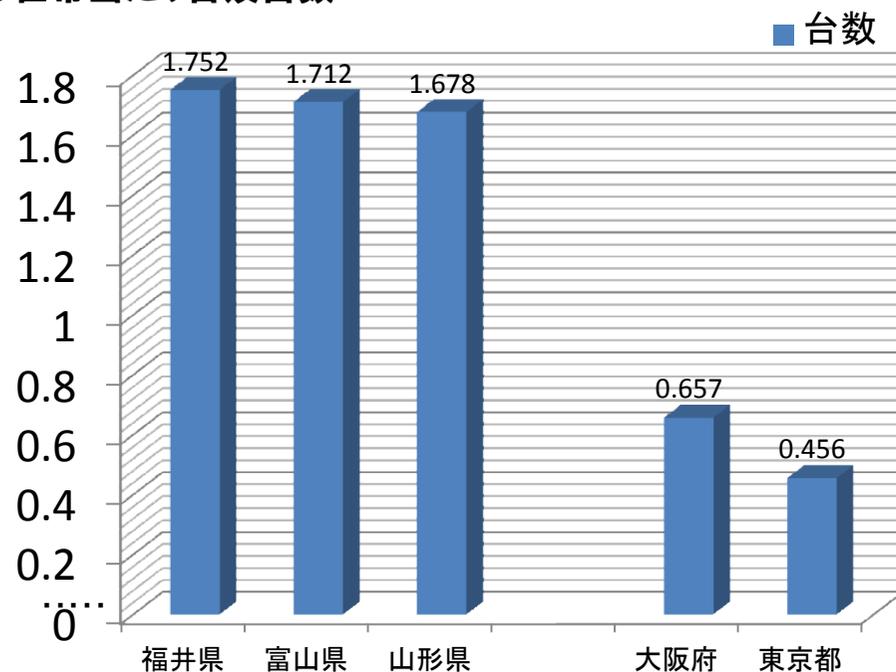
- ① 福井市北部から福井市中心部への通勤ニーズの掘り起こし

相互乗り入れの効果(環境面)

- ・福井県は全国トップのクルマ依存社会
- ・相互乗り入れ事業により鉄道の利便性を高め、クルマから公共交通への利用転換につなげる
- ・公共交通の利用促進は、CO₂削減など地球温暖化対策にも貢献



○ 自家用乗用車の世帯当たり普及台数



相互乗り入れに使用する車両の確保

福井鉄道車両



F1000形 (定員155名)



770形 (定員90名)



F1000形 (定員155名)

えちぜん鉄道車両



L形 (定員100名)

えちぜん鉄道が新たに導入したLRV

- ・環境省の、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金
（低炭素化に向けた公共交通利用転換事業）
を活用し、低床車両を2編成導入

※自動車から公共交通への利用転換により、二酸化炭素の排出抑制を図るもの

愛称 「ki-bo」 (キーボ)



L形 (定員100名)
全長18.7m 最高速度70km/h

えちぜん鉄道株式会社

田原町駅

- ・えちぜん鉄道三国芦原線専用ホーム(高床)、
福井鉄道福武線専用ホーム(低床)、
相互乗り入れ専用ホーム(低床)の整備
- ・両社線路の接続、信号保安システムの整備



整備後

中央が相互乗り入れ専用線
(LRVが停車している線)



線路の接続部分

左 えちぜん鉄道 三国芦原線
中央 相互乗り入れ専用線
右 福井鉄道 福武線(留置線)

福大前西福井駅

- ・既設の高床ホームの三国方側を低床ホームに改修



整備前



整備後

〔奥が高床ホーム、手前は低床ホーム〕

日華化学前駅 (H19新設)

- ・高床ホームと低床ホームを整備(単線区間)



整備前



整備後

〔奥が高床ホーム、手前は低床ホーム〕

ハツ島駅 (H19新設)

- ・高床ホームと低床ホームを整備(単線区間)



整備前

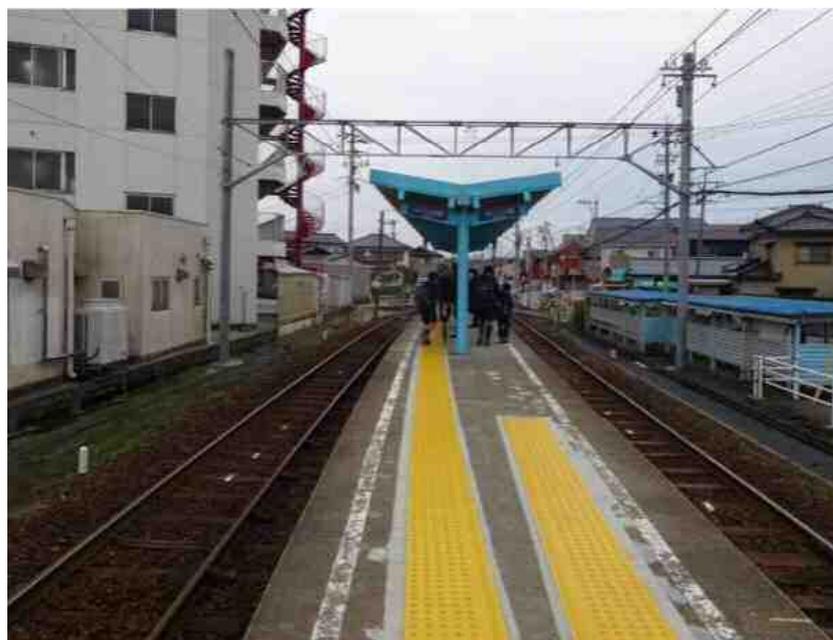


整備後

〔奥が低床ホーム、手前は高床ホーム〕

新田塚駅

- ・両側に低床ホームを整備
(島式の高床ホームは存置)



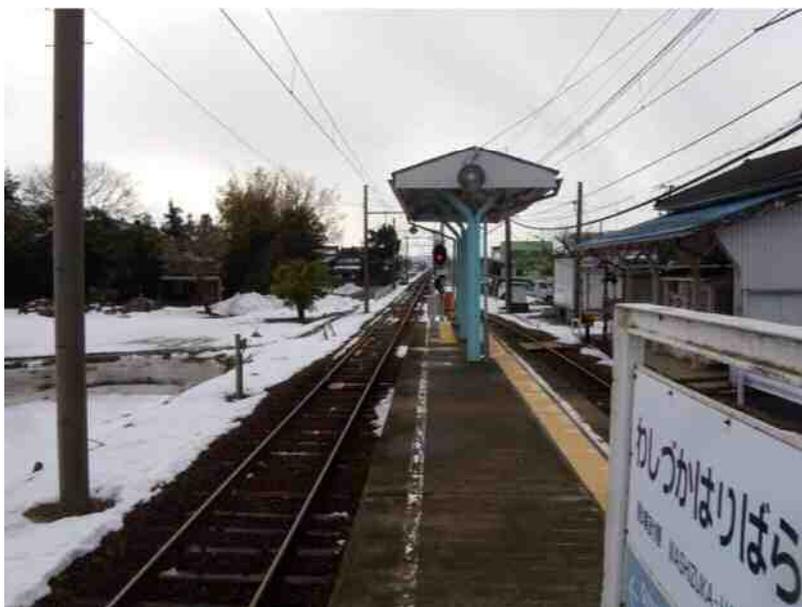
整備前



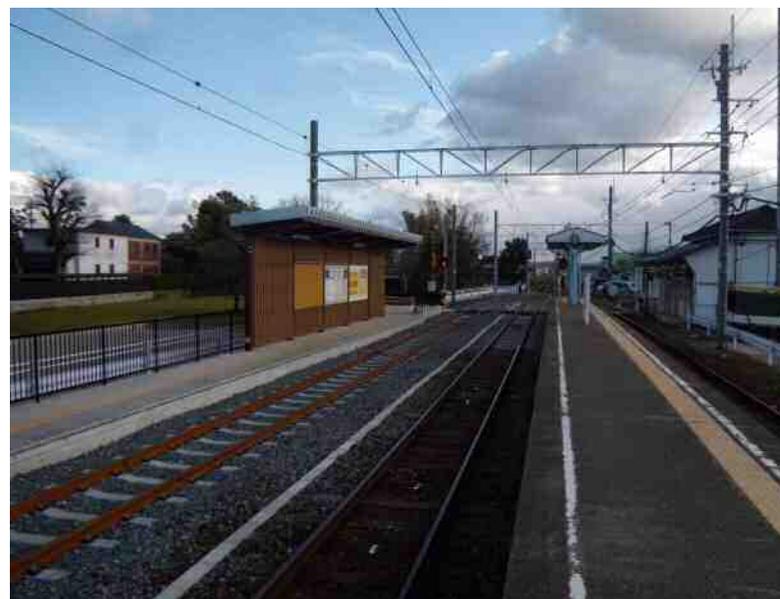
整備後

鷺塚針原駅

- ・低床車専用線(相直便の折返し線)の整備
- ・低床ホームの整備
- ・信号保安施設の整備



整備前



整備後

〔 相直便の折返し線を新設 〕

定時性の確保

① 右折車両分離方式信号の導入

- ・自動車と列車の接触を避けるため、軌道信号の進現示と、自動車信号の右折現示を分離

※信号は、「赤」、「黄」、「直左」または「右」の矢印表示のみ

② 電車PTPSの導入

- ・列車接近に合わせ、青の延長もしくは赤の短縮を行うPTPS(公共車両優先システム)を設置し、列車の信号待ち時間を短縮
- ・バスと電車のPTPSの同一区間での運用は全国初

③ 電停の改良(広幅ホーム)

- ・ホーム幅が約0.8mと狭く、乗降に時間を要していたため、幅を2mに広げるによりラッシュ時の乗降時間を短縮



電車専用信号と右折車両分離方式信号



仁愛女子校電停(従来)



仁愛女子校電停(改良後)

◇ 試運転

- ・平成28年3月13日深夜、線路接続・信号保安施設の検査を終えた田原町駅に、えちぜん鉄道の新型車両が入線、試運転を行った



田原町駅にえちぜん鉄道の
LRVが初入線
(H28.3.13深夜)



えちぜん鉄道のLRVが初めて
福武線の路面区間を走行
(H28.3.13深夜)

◇ 習熟運転

- ・平成28年3月18日から、えちぜん鉄道、福井鉄道の運転士が、互いの車両を使用し習熟運転を実施した

開業式典

平成28年3月27日、田原町駅で西川知事、沿線市町の首長をはじめ約100人の来賓の出席のもと盛大に開業式典が行われた



式典中、田原町駅に入線する
相互乗り入れ列車



テープカット
※両社長が固い握手

相互乗り入れ運行開始後の利用状況

平成28年3月27日の相互乗り入れ開始後1ヶ月の利用者

- ・一般利用者は、前年同時期に比べ**約2.9倍**
- ・土日限定の「福井鉄道・えちぜん鉄道共通1日フリーきっぷ」利用者は**約5.8倍**

期 間	一般利用者 〔片道きっぷ、往復きっぷ、 回数券、定期券〕	福井鉄道・えちぜん鉄道 共通1日フリーきっぷ購入者
平成28年3月27日(日) ～4月26日(火)	約10,900人	約930人
【前年】 平成27年3月27日(金) ～4月26日(日)	約3,800人	約160人※

(きっぷの売上枚数から推計した数値)

※ 期間中の土日数が、H27年は10日間、H28年は9日間であるため、H27年の利用数を9日間相当に補正した(10日間実数は約180人)

積極的なご利用をお願いいたします！



ご清聴ありがとうございました。